

# 全国農業

NATIONAL  
AGRICULTURAL  
NEWS

# 新聞

2021年(令和3年)

6月18日 金曜日  
月4回金曜日発行

首都圏

## 観光↓市場出荷にシフト



オリジナル品種の「アルプス紅扇」

## サクランボ、コロナに対処

### JAN南アルプス市で営農指導

【山梨】サクランボ産地の南限として知られる山梨県。中でも南アルプス市は、山梨県で最初にサクランボの生産を始めたといわれて

いる。

同市の農家の多くは、毎年5月中旬ごろから観光サクランボ狩り園を開いていますが、昨年は新型コロナウイルス

イルスの影響で市全体の観光園の売り上げが大きく減少した。今年もしっかりとした感染症対策を行い観光園に取り組んでいるが、それでも厳しい状況は変わらない。

そこで、JAN南アルプス市では、市場出荷に向けた営農指導に力を入れている。元々出荷をメインに栽培を始めた農家がほとんどで、観光から市場出荷へのシフトは、スムーズに行うことができたという。

今年の市場出荷は「高砂」から始まり、定番の「佐藤錦」、一段と糖度の高い「紅秀峰」へと続いている。また、来年にはオリジナル品種の「アルプス紅扇」も共選出荷される予定だ。

JAN南アルプス市の手塚

英男営農指導部次長は、

「今年はすべての品種がバランス良く結実している。

首都圏に近く、鮮度に自信を持って出荷しているの  
で、多くの方々に食べてもらいたい。宅配も取り組んでいるので、そちらも利用して南アルプス市産のサクランボをご堪能いただければ」と話す。

問い合わせは、JAN南アルプス市(☎0555・283・7134)まで。